関東のいずもさん社報 むすひ

令和５年１月
発　行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
ﾒｰﾙ info@izumosan.com
編集兼発行人
副分祠長　草山和泉
季刊毎年２回発行
https://www.izumosan.com/

令和五年 初詣のご案内

一、正月期間のご参拝について
感染対策をしながら通年通り実施します。

○幸先詣 ― しめなわ市 ― 十二月十五日～三十一日
・新年飾りと正月授与品を一足先にご用意します。

○大晦日より元旦晩まで夜間参拝ができます。
・大晦日　二十三時より新年初祈祷受付開始
・元旦〇時　新年の報鼓　初詣・授与品頒布開始
　新年初祈祷　一番祈祷斎行
・午前二時　夜間祈祷受付終了
・午前二時三〇分　屋台・露店商消灯
　但し、境内は夜間ライトアップ特別警備有り
　お参り・おみくじ・授与品頒布対応は翌朝まで可
・午前六時三〇分　新年初祈祷受付開始
・午前六時四〇分　初日の出
・午前七時　正月授与品特設大テント　頒布開始
・午前九時　龍蛇神の社 特別拝観開始
　（午後三時三十分迄）
・午後六時　新年初祈祷受付終了
・午後八時　授与品頒布終了
　※以後、二月末まで提灯飾りライトアップ有　夜間参拝可能

○二・三日
・祈祷受付（午前八時三十分～午後六時）
・正月授与品特設大テント（午前八時～午後八時）
・月次祭（午前十時三十分・二日のみ）
・龍蛇神の社特別拝観（午前九時～午後三時三十分）

○四～九日　一月中の土日祝
・祈祷受付（午前八時三十分～午後五時）
・正月授与品特設大テント（午前八時三十分～午後六時）

○十日以降　年中無休
・祈祷受付（午前八時三十分～午後四時三十分）
・正月授与品特設大テント（午前八時三十分～午後五時）

○新年初祈祷は一月中毎日行っております。（予約不要）

○正月三が日は例年、車の渋滞が懸念されますが、秦野市保健福祉センターの臨時駐車場（徒歩五分）はほぼ空きがあります。なるべくバスや公共機関のご利用にご協力下さいませ。

※※初詣はマスク着用で御参拝下さいませ。
※例年三日に斎行される福迎祭のお相撲さんの参列・餅まき・餅つきなど行事は本年執り行いません。
※元旦より節分まで、混雑解消の為、当社発行の御朱印帳以外の御朱印は和紙に浄書したものを授与します。

令和五年 ー初詣ー
正月期間は元旦～節分まで

令和五年初詣は参拝期間を延長してお待ちしております。マスク着用にご協力ください。

初詣の社頭においては新年の干支飾りや破魔矢など正月しかない縁起の良い飾り物に彩られる。

元旦より新年初祈祷が催され、古式豊かな出雲神楽の音色を奏で新年最初の願いを神様に祈願する。特に新年の初祈祷には無病息災の「延綬屠蘇」（えんじゅとそ）限定千名分が用意されている（一組一つ）。

三が日には例年十万人以上の参拝者が訪れ、屋台や露店が出店し、三が日を通じてお参りの列は絶えない。おみくじの行列など大変な賑いで、授与所に入りきらない正月飾り等は境内の特設テントで授与。

「出雲大社相模分祠 最寄駅」
小田急線「秦野駅」に副駅名がつきました

混雑状況が分かるように公式サイトで 24 時間リアルタイムで配信しております

境内のライトアップは２月末まで

年越は幸先詣（さいさきもうで） しめなわ市も開催

十二月十五日～大晦日まで幸先詣を実施、新年の注連縄飾り（限定二〇〇〇本）を準備するほか、神棚のお札新年の御守り・授与品など、一足早く頒布開始。古来より新年の準備は十二月に行われ、師走という言葉に表されるよう、年末に新年のお札を求め、慌ただしく年を締めていく様は風物詩でもある。

※元旦にならないと用意できない授与品もありますのでご了承下さい。

おまつり広場 ダイコク市開催！！
露店は令和五年元旦～二月五日まで

令和五年元旦より二月五日まで境内参道に於いて、ダイコク市が開催される。参拝が集中する三が日だけではなく一月全体を通して、お正月の縁日を体験できるよう毎週開催している。

縁起の良い出雲そばなど島根のお土産販売のほか、たこ焼き、串焼き販売を始め地元商店・おいしいキッチンカーも出店予定。

お正月にしかない特別なマルシェを楽しめる。

お正月特設授与所

ダイコク市縁日の開催日程は元旦より九日、以降の土日祝日に開催。終了は二月五日（日）まで。また、一月すべての日で境内に正月授与品特設大テントを開設し、「立春大吉縁起」「破魔矢」「干支縁起物」頒布を始め三が日にお参りできなかった方の為にも新年初祈祷は節分まで行われ、新年のいずも暦の頒布（一世帯一部・一万五千冊限定無料）等も行っている。

お正月限定御朱印 干支うさぎ

令和五年元旦～節分までお正月限定御朱印を頒布。因幡の白兎神話にあるように兎はダイコク様とゆかりの深い縁起のいい動物。

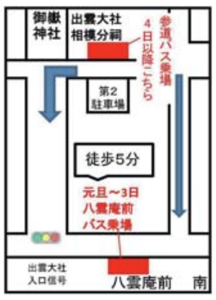
鳥獣戯画の楽しいうさぎ達が愉快にお正月を彩ります。（書き置き御朱印のみ・朱印帳への浄書不可）

竹灯籠・提灯ライトアップ

令和四年十二月十五日から二月末迄、竹灯籠提灯をライトアップ。境内は数百灯の提灯飾りと竹灯籠で照らされ、夕闇の参拝もおすすめ。三が日は夜八時、四～九日・毎週土日のダイコク市期間は夜六時、平日は午後五時まで。

花手水

元旦～三日は周辺道路が大変混雑してしまい近隣に迷惑をかけてしまうので、お車は臨時駐車場に停めて下さい。
秦野市保健福祉センター駐車場
秦野市緑町１６ー３
無料　余裕あり　徒歩５分



1月4・5・6・7・8・9日（月祝）
14日（土）15日（日）21日（土）22日（日）
28日（土）29日（日）
30分間隔運行　ダイコク市屋台あり

秦野駅南口発（出雲大社相模分祠 最寄駅）	時	出雲大社相模分祠発【参道停留所】
00　30	9	15　45
00　30	～	15　45
00　30	17	15　45

参拝者専用 無料バス 25人乗り
元旦・2日・3日　20分間隔で運行

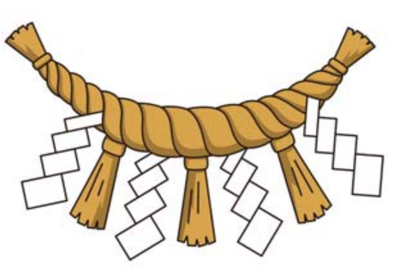
秦野駅南口発（出雲大社相模分祠 最寄駅）	時	出雲大社相模分祠発【八雲庵前停留所】
00 20 40	9	00 20 40
00 20 40	～	00 20 40
00 20 40	19	00 20 40

（元旦より九日迄・一月末迄の土日祝）

年末は しめなわ市 ―お正月の準備―

神社のしめ縄は神の領域と現世を分け隔てる『結界』として、なわばりを指し示す。しめ縄の由来は、古事記に書かれた天照大神の神話だと言い伝えられ、その昔、岩戸にこもった天照大神を神々が連れ出した際「もう岩戸に入らないように」と岩戸にしめ縄をつけたことに由来すると伝えられます。

自宅の正月飾りであるしめ縄ゴボウ締めは年神様を受け入れる支度として飾るものであるため、年末の内にご用意するのが作法です。ゴボウ締め・玉飾り・輪飾りなど様々な形のものが伝えられ、一般に二十八日頃に飾り始めるのが慣例。正月飾りを片付けるのは、年神様が戻る日である『松の内が終わった直後』だといわれています。松の内は関東の場合は『一月七日』関西の場合『一月十五日』というように地域によって異なることも多い。正月飾りを片付ける際には、古くよりどんと焼きの習慣があります。当社におきましてもお気持ちを賽銭箱に納めて頂き、正月飾りのお焚き上げを受付。（五月人形などは別途引取料が必要）令和五年は注連縄・正月飾り各種を多数ご用意しております。



年越しそばに 出雲そば はいかがですか？

「出雲そば」は、日本三大そばとも称され、出雲地方の伝統食です。「挽きぐるみ」といって玄ソバの殻ごと製粉し、殻に近い部分が他の地方より多く含まれている為、色が濃く、香り・味が強く、春の山菜のほのかな苦味のような、独特な風味があります。

令和五年の新年初祈祷の特別授与品は、「出雲そば」。出雲地方で伝統的な製法で打たれた手打ち感にこだわった乾麺です。

〔年越しそばの由来〕

年越し蕎麦の起源をさかのぼると、江戸時代中期、商家では毎月末日に蕎麦を食べる三十日蕎麦（みそかそば）という習慣があり、これが転じて大晦日の年越し蕎麦になったと考えられています。

その当時の江戸では江戸患い（脚気）が流行しており、「そばを食べている人は脚気にならない」という巷説がそばの流行を後押ししました。諸説ありますが、

□蕎麦は細く長いことから延命・長寿・家族の縁を長く続くように祈ったという説

□蕎麦（生えている蕎麦）は風雨に叩かれても翌日陽がさせばすぐ起き直る事から健康の縁起を担ぐ説など。

地域ごとに様々な食べ方で親しまれる蕎麦。季節の節目に縁起よく年越しそばを。

因幡の白兎伝説

出雲の国に心優しいだいこく様という神様がいました。因幡の国の八上比売（やがみひめ）という美しい姫の噂を聞き、兄弟の神様達は会いに行くことになりました。だいこくさまは兄弟達の家来の様に大きな袋を背負わされ、一番後をついて行きました。ちょうど兄弟たちが因幡の国の気多の岬を通った時、体の皮を剥かれて泣いているうさぎを見つけました。

兄弟たちは意地悪をして、海水を浴びて風にあたると治ると嘘をつきました。うさぎは騙されて、前よりも傷もひどく苦しくなって泣いていると、だいこくさまが通りかかり訳を聞きました。うさぎは「隠岐の島から、一度この国に渡ってみたいと思って泳がないで渡る方法を考えていました。するとそこにサメが来たので、彼らを利用しようと思い、自分の仲間とどっちが多いか比べっこしようと話をもちかけました。サメ達は言う通りに背中を並べ、私は数を数えるふりをしながら、向こうの岸まで渡っていきました。しかし、もう少しというところで嬉しくなって、つい、騙した事を言ってしまい、怒ったサメに仕返しされて皮を剥かれてしまったのです。それから、痛くて泣いていると先程ここを通られた神様たちが、海に浸かって風で乾かすとよいと仰ったのでそうしたら前よりもっと痛くなったのです。」だいこくさまは、すぐに真水で体を洗い、それから蒲（がま）の穂を摘んで、その上に寝転ぶよう教えました。すると、体から毛が生え始め、すっかり元の白うさぎに戻りました。感謝したうさぎは『先に行った兄弟の神様はヤガミヒメと結婚できません。きっと、優しいあなたのお嫁様になるでしょう。』と伝え去りました。予言通り、ヤガミヒメは後から来ただいこくさまに「私を自分のものにできるのは、袋を背負われるあなたです。」と言い、二人はめでたく結婚することとなりました。

・・・・・・・・

うさぎにもう少し謙虚な気持ちがあったらサメも協力してくれたかもしれません。荷物を背負わされ不利な立場でも、心優しく周りを助けてあげられる、そんなだいこく様の姿に、ヤガミヒメも意地悪な兄神ではなく、だいこくさまの求婚を受け入れたに違いありません。

名物むすび大福販売開始・正月菓子のご案内

◆むすび大福

十月より「出雲大社相模分祠名物むすび大福」の販売が開始された。手作りで贅沢に奉製した本格和菓子で毎年神在月の十月より翌四月までの期間限定販売。当社のオリジナル和菓子として二十年以上変わらない伝統の味わいをお楽しみ下さい。もっちりとした餡に大きな栗が入った紅白の大福です。

◆兎年最中

毎年正月には期間限定で干支を象ったかわいらしい最中を奉製しているが今年は十二支の兎を象ったかわいらしい最中。「病気平癒」「家内安全」「子育て」の象徴とされ、古くより開運の縁起物として愛されてきた。正月限定の八雲庵のオリジナル和菓子の一つです。

◆美保岐餅―みほぎもち

美保岐餅は、出雲国造（島根県出雲大社宮司）の代替りの時に奉献される三色の「美保岐玉」にちなんで謹製された白・赤・青の生菓子です。長寿と健康を祈る縁起の良いお餅ですので、慶事の際の贈り物や年賀の手土産にご利用下さい。（正月期間限定販売）

照ノ富士 横綱奉納

横綱は、大相撲の力士の最高位の称号である。語源的には、横綱だけが腰に締めることを許されている白麻製の注連縄の横綱の名称に由来する。不知火型と雲竜型があるが、師匠の横綱旭富士に倣い不知火型の横綱を照ノ富士は奉納した。社殿内に飾られているほか、御嶽神社神楽殿には横綱日馬富士の優勝額と同じ不知火型横綱が展示されている。

この優勝額は国技館に展示してあったものだがなんとその大きさは縦 3.17 メートル、横 2.265 メートル（畳五枚分）、重さは五十九 kg。現在コロナ禍により恒例のお相撲さんの豆まきなど中止を余儀なくされているが、伊勢ケ濱部屋力士の活躍には目を見張るばかりである。

照ノ富士の豆まき
平成三十一年節分

師匠　伊勢ケ浜親方（元横綱旭富士）

東横綱　照ノ富士春雄
西前頭三枚目　翠富士一成
西前頭五枚目　錦富士隆聖
東前頭八枚目　宝富士大輔
西前頭十枚目熱海富士朔太郎
東前頭十六枚目　照強翔輝
年寄　楯山親方（元誉富士）
年寄 安治川親方（元安美錦）

奉納 不知火型横綱
横綱 照ノ富士（白）
伊勢ケ浜親方（赤）

《令和五年神事行事予定》

※変更の場合もあります

一月一日　元旦～節分まで
　初詣・ダイコク市・竹灯籠・
　ぼんぼり・ライトアップ
二月三日　節分祭
　（豆まき未定）
二月四日（立春）～下旬
　梅祭り・つるしびな
二月十一日　紀元祭
二月十七日　祈年祭
三月　春分の日
　春季祖霊祭（祖霊社）
三月二十五～四月十六日
　さくらまつり
四月八・九日
　秦野元気祭り
　～春の陣～よさこい
六月晦日 夏越の大祓
　茅の輪くぐり
七月一日～八月末まで
　夏詣　なつもうで
七月八・九日
　十五～十七日
　ほおずき市朝顔市（縁日）
　丹沢マルシェマーケット
七月十三日～十六日
　（新暦お盆参り）
　祖霊社みたままつり
七月三十一日　夏の縁日
八月上旬
　出雲大社教教団大祭
　おくにがえり（島根県）
八月十三日～十六日
　（旧暦お盆参り）
　祖霊社みたままつり
九月九日
　出雲大社相模分祠例祭
九月二十三日　秋分の日
　秋季祖霊大祭（祖霊社）
秋頃　秦野元気まつり
　～秋の陣～よさこい
旧暦十月十日・新暦十一月二十二日
　出雲大社（島根県）
　神迎祭
十一月　七五三　菊花展
十二月三十日
　年越の大祓
《月毎の祭典》
◆毎月一日　十時三十分
出雲大社相模分祠月次祭
（参列自由・予約不要）
◆毎月第一日曜日十五時
祖霊社・月次祭
（みたままつり）
（参列自由・予約不要）
◆永代供養相談会（要予約）

小田急線 秦野駅に副駅名がつきました
『出雲大社相模分祠』最寄駅

出雲大社相模分祠は、「関東のいずもさん」の愛称で七五三・初詣など地域の方々の節目を見守り神道文化の発信地として歩んできました。秦野駅副駅名看板の設置をきっかけに秦野駅をご利用の皆様に出雲大社相模分祠をより身近に感じて頂くと共に、初詣や年中行事の賑わいを通じて小田急沿線で生活する多くの人々に寄り添い地域の発展・観光に貢献します。

■創建

出雲大社相模分祠は、明治二十一年（西暦一八八八年）に島根県に鎮座する出雲大社第八十代国造・千家尊福公に請願し、秦野市平沢の累代の神職であり秦野煙草の祖と仰がれる草山貞胤翁が大国主大神の神徳を関東に広めるため勧請したのが始まりです。

■神道文化の発信地

出雲大社は相撲の神様ともゆかりが深く、初詣節分には伊勢ケ濱部屋による横綱照ノ富士や関取の迫力の賑わい行事を三十年以上にわたり開催（感染予防により現在一時中止）。出雲神楽の伝承や神道儀礼を通じて、人々のつながりや昔ながらの神まつりの姿を忘れず、どこか懐かしい日本の縁日を現代に伝えていきたい、そんな場所を目指しています。

■「秦野名水」湧水地

名水の里 秦野 丹沢山地と大磯（渋沢）丘陵に囲まれた秦野盆地は、神奈川県で唯一の盆地であり、「天然の水がめ」とも称され、豊富な地下水が市内のいたるところで湧き出ています。

慶長年間より湧水する境内の「ゆずりの水」は、平成二十七年に環境省が行った、〜名水百選三十周年記念〜「名水百選」選抜総選挙の「おいしさがすばらしい名水部門」で全国一位にもなった環境省選定名水百選秦野盆地湧水群のひとつでもあり、多くの参拝者がお水取りに訪れる憩いの場となっております。（飲料可・保健所の調査を毎年実施）

■持続可能な環境を作る「千年の杜プロジェクト」

先祖より受け継がれてきた美しい日本の自然の姿を子々孫々まで持続可能な環境として守ることは、今に生きる私たちの責任です。その理念の下、出雲大社相模分祠は平成十九年に千年の杜・いのちの杜づくりを行いました。

境内西側に位置する「千年の杜」は、平成十九年に一万二千本植樹された「ふるさとの木によるふるさとの森」です。国の内外で「本物の森づくり」を続ける・故宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと、照葉樹を中心に、日本古来の樹木が混植・密植されています。現在、市内各所に約八万本の植林を行い、地域一丸となって里山の環境づくりを推進しています。

出雲大社相模分祠は、小田急線秦野駅の副駅名に関する権利を取得し、令和４年 10 月 21 日より副駅名看板を設置しました。

―先祖供養は祖霊社で―

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。

日本では古来より神道文化の島国ではあるが、海外より多様な文化が習合され、とくに江戸幕府の政策により仏教の檀家制度が全国に広まった。それより以前から出雲大社では神道の供養を通して、庶民の葬式やお墓の問題に積極的に関わってきた。明治維新において、国家神道とは立場をわかち、神道の民間布教を通じて、神葬祭や埋葬の作法などを教導するに至った。

当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。

―納骨堂の利用法―

当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも、新たに神式に改めることも可能です。

納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・供養を日々ご奉仕します。祖霊社のお預かり期間は原則として一年以上三十三年までとなります。

弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、秦野の里山自然に還ります。

いのちの管理料などの不安・問題も解消できます。

たくさんの方々の祈りを集める祖霊社で安心の供養ができます。

普段よりお参りに来られる神社で、初詣・季節のお参りの折にご一緒にお参りすることができます。

―祖霊社の神事―

神葬祭・五十日祭（法要）・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。

ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで（要予約）神事後の直会（会食）も隣接する出雲記念館で出来ます。

祖霊社で斎行することも御自宅、霊園への出張祭典も可能です。

みたままつりのご案内

祖霊社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同のみたままつりを斎行しております（参加無料）。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げして丁寧に供養致します。

渋沢丘陵にある神道墓地　永代供養墓

納骨堂・神道墓地の永代供養料
永代供養料　三十三万円

令和五年 梅まつり

◇二月四日（立春）〜二月末頃迄、秦野最大級の欅の樹林帯の中にある境内は、樹齢百年を超える梅の古木で囲まれます。春の息吹を感じ、梅花を眺めながらお過ごし下さい。期間中は境内で甘酒頒布。巫女が手作りで丁寧に作っております。そのほか紅梅提灯・吊るし雛やライトアップも実施。出雲大社相模分祠写真展も同時開催。

南はだの村 さくらまつり

令和五年三月二十五日〜四月十六日の期間、境内において桜まつりを開催。限定御朱印・桜のライトアップやキッチンカー・出店で賑わう。

近くを通る秦野桜みちは約6.2 kmにわたる県内で一番長い桜並木道とされ、たくさんの花見客で賑わう。ぜひ車から降りて当社の桜まつりに足を運んでください。

令和四年 年越大祓の御案内

十二月の晦日、恒例の年越の大祓（おおはらえ）神事が社殿内にて斎行される。

斎行日　十二月三〇日（金）
　　　　午後三時
玉串料　三〇〇〇円
授与品　大祓符
　　　　蘇民将来符
　　　　夢枕符
　　　　出雲そば

古来我々の先祖は、毎年六月晦日・年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい年の幸せを祈願しました。この祭儀に先立ち「人形・車形」をお届け致しますのでご家族のお身体・お車をお清めになった後、同封の返信用封筒にてご返送いただくか、大祓当日にご持参下さい。新しい一年の一層の「幸せ」のご縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。

出雲大社相模分祠
分祠長　草山清和

【ご来社される場合】
当日ご参列の方は人形（ひとがた）・車形（くるまがた）をご準備の上、玉串料（三千円）を添えて授与所・受付までお越し下さい。（予約不要・当日参加可）大変込み合いますので二十分前にはお越し下さい。

【当日来られない方】
当日ご参加できない方は事前にお預かり致します。人形・車形・御祈願料を封筒に入れてご持参下さい。

【郵送される場合】
ご参列の叶わない方は郵便振込にて御祈願料の三千円を添えてご送金下さい。後日、記念の縁起物を発送致します。

新年初祈祷の案内

令和五年元日より新年初祈祷を斎行します。一年の平穏を御祈念し、家内安全・厄除け・八方除などぜひこの機会にご参拝お待ちしております。お正月の特別授与品として先着千名の方に「延壽屠蘇（えんじゅとそ）」を（一世帯一体）お授け致します。

大国主大神様は古くより医薬の神様として信仰されています。この屠蘇は、無病息災厄除のために、山椒・防風・大黄など十数種の薬草を調合し、酒にひたして飲んだのが始まりで、邪気を屠り、魂を蘇らせるところから「屠蘇」と名付けられたといわれています。この延壽の屠蘇は、新年に当り崇敬者の方々の無病息災、稼業繁栄、交通安全をお祈りし、御神前にてお祓いを行った後、各ご家庭におわかちするものであります。

また大神様は商売繁盛の神様として名高く崇敬を集めております。会社の仕事初めの際には新年祈祷として「事業繁栄」「商売繁盛」などお受けしております。会社祈祷に際しましては事前に予約も承っております。（但し玉串料一万円より）詳細はホームページに記載しておりますのでご相談ください。

◇御祈願料
・三万円（巫女舞あり）
・二万円・一万円
・七千円・五千円

◇予約不要で当日のお申込みで承ります。
◇三万円以上の御祈願の際には巫女舞を奉納します。
◇祈願料に応じてお札の大きさ・授与品が異なります。願い事一つに付き、一体のご神札・お守りを用意します。
◇祈祷授与品は神札・御守り・神菓になります。授与所で頒布しておりますのでご入り用の方は別段お求め頂きます様お願い申し上げます。
◇年中無休で祈願受付しております。
◇会社祈祷は事前予約を承っております。

詳細はホームページにて御確認を御願い致します。
◇会社祈祷は事前予約を承っております。
（但し祈願料一万円以上）
※郵送の場合は送料千円
詳細はホームページにて御確認を御願い致します。

ゆうちょ銀行
店名　当座【029店】（ゼロニーキュー店）
取扱票番号【00220−7−37940】
加入者名【宗教法人　出雲大社相模分祠】

人形・車形の使い方

人形とは古くより禊や祓をするときに人間の身代わりとして用いてきました。撫物（なでもの）ともいい厄を移した後、川などに流していました。当分祠では夏冬の大祓の際に、人形（ひとがた）・車形（くるまがた）を用意し、人形・車形を形代（かたしろ）にして自らの罪穢れを移しお祓いします。

人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身こすり、悪い気を取り移してお祓いします。車形に氏名・ナンバーを記入し同様に愛用しております、乗用車、二輪車、バイクなどの四方を撫でこすって罪穢れをお祓いし当分祠にお納め下さい。大祓の神事の際、身代わりとしてお祓いし、後ほど忌火をもってお焚き上げします。人形は大祓の当日もご用意しておりますので、ぜひご参列下さいませ。

大祓人形記入例

大祓車形記入例

期間限定 立春大吉縁起頒布

立春を寿ぎ大吉を招く幸運の縁起物

立春大吉縁起とは、天地自然の霊気を正しく受け、平穏無事に過ごすことのできる万民に福をもたらす縁起物です。

本年は、より多くのお福わけを頂けるよう、明るい社会を祈念して桃色に奉製致しました。この色は希望と光を表す陽の色でもあります。より多くの運気をお分けいただき、明るく希望に満ちた一年に致しましょう。

社頭にて一月一日より二月十九日まで八百円で頒布しております。尚、事情により来社できない方は郵送（着払・代引き）の頒布も承っております。当分祠のホームページで詳しいお申込みご案内がございます。

《貼り方》
二月四日の立春大吉の日に、玄関やお子様の勉強部屋、大切な部屋の入口等に外向きにのりや両面テープで少し高いところに貼り付けて下さい。

立春大吉縁起の頒布期間は十二月十五日から翌年二月十九日迄

令和5年　年回り早見表

令和5年生 2023年 満0歳 数え1歳 八方除	令和4年生 2022年 満1歳 数え2歳	令和3年生 2021年 満2歳 数え3歳 八方除	令和2年生 2020年 満3歳 数え4歳 八方除	令和元年生 平成31年生 2019年 満4歳 数え5歳	平成30年生 2018年 満5歳 数え6歳	平成29年生 2017年 満6歳 数え7歳 八方除	平成28年生 2016年 満7歳 数え8歳	平成27年生 2015年 満8歳 数え9歳 暗剣殺	平成26年生 2014年 満9歳 数え10歳 八方除	平成25年生 2013年 満10歳 数え11歳	平成24年生 2012年 満11歳 数え12歳 八方除	平成23年生 2011年 満12歳 数え13歳 八方除	平成22年生 2010年 満13歳 数え14歳	平成21年生 2009年 満14歳 数え15歳	平成20年生 2008年 満15歳 数え16歳 八方除	平成19年生 2007年 満16歳 数え17歳
平成18年生 2006年 満17歳 数え18歳 前厄（女） 暗剣殺	平成17年生 2005年 満18歳 数え19歳 本厄（女） 八方除	平成16年生 2004年 満19歳 数え20歳 後厄（女）	平成15年生 2003年 満20歳 数え21歳 八方除	平成14年生 2002年 満21歳 数え22歳 八方除	平成13年生 2001年 満22歳 数え23歳	平成12年生 2000年 満23歳 数え24歳 前厄（男）	平成11年生 1999年 満24歳 数え25歳 本厄（男） 八方除	平成10年生 1998年 満25歳 数え26歳 後厄（男）	平成9年生 1997年 満26歳 数え27歳 暗剣殺	平成8年生 1996年 満27歳 数え28歳 八方除	平成7年生 1995年 満28歳 数え29歳	平成6年生 1994年 満29歳 数え30歳 八方除	平成5年生 1993年 満30歳 数え31歳 八方除	平成4年生 1992年 満31歳 数え32歳 前厄（女）	平成3年生 1991年 満32歳 数え33歳 本厄（女）	平成2年生 1990年 満33歳 数え34歳 後厄（女） 八方除
平成元年生 昭和64年生 1989年 満34歳 数え35歳	昭和63年生 1988年 満35歳 数え36歳 前厄（女） 暗剣殺	昭和62年生 1987年 満36歳 数え37歳 本厄（女） 八方除	昭和61年生 1986年 満37歳 数え38歳 後厄（女）	昭和60年生 1985年 満38歳 数え39歳 八方除	昭和59年生 1984年 満39歳 数え40歳 八方除	昭和58年生 1983年 満40歳 数え41歳 前厄（男）	昭和57年生 1982年 満41歳 数え42歳 本厄（男）	昭和56年生 1981年 満42歳 数え43歳 後厄（男） 八方除	昭和55年生 1980年 満43歳 数え44歳	昭和54年生 1979年 満44歳 数え45歳 暗剣殺	昭和53年生 1978年 満45歳 数え46歳 八方除	昭和52年生 1977年 満46歳 数え47歳	昭和51年生 1976年 満47歳 数え48歳 八方除	昭和50年生 1975年 満48歳 数え49歳 八方除	昭和49年生 1974年 満49歳 数え50歳	昭和48年生 1973年 満50歳 数え51歳
昭和47年生 1972年 満51歳 数え52歳 八方除	昭和46年生 1971年 満52歳 数え53歳	昭和45年生 1970年 満53歳 数え54歳 暗剣殺	昭和44年生 1969年 満54歳 数え55歳 八方除	昭和43年生 1968年 満55歳 数え56歳	昭和42年生 1967年 満56歳 数え57歳 八方除	昭和41年生 1966年 満57歳 数え58歳 八方除	昭和40年生 1965年 満58歳 数え59歳	昭和39年生 1964年 満59歳 数え60歳 前厄（男）	昭和38年生 1963年 満60歳 数え61歳 還暦 本厄（男） 八方除	昭和37年生 1962年 満61歳 数え62歳 後厄（男）	昭和36年生 1961年 満62歳 数え63歳 暗剣殺	昭和35年生 1960年 満63歳 数え64歳 八方除	昭和34年生 1959年 満64歳 数え65歳	昭和33年生 1958年 満65歳 数え66歳 八方除	昭和32年生 1957年 満66歳 数え67歳 八方除	昭和31年生 1956年 満67歳 数え68歳
昭和30年生 1955年 満68歳 数え69歳	昭和29年生 1954年 満69歳 数え70歳 古希（こき） 八方除	昭和28年生 1953年 満70歳 数え71歳	昭和27年生 1952年 満71歳 数え72歳 暗剣殺	昭和26年生 1951年 満72歳 数え73歳 八方除	昭和25年生 1950年 満73歳 数え74歳	昭和24年生 1949年 満74歳 数え75歳 八方除	昭和23年生 1948年 満75歳 数え76歳 八方除	昭和22年生 1947年 満76歳 数え77歳 喜寿（きじゅ）	昭和21年生 1946年 満77歳 数え78歳	昭和20年生 1945年 満78歳 数え79歳 八方除	昭和19年生 1944年 満79歳 数え80歳 傘寿（さんじゅ）	昭和18年生 1943年 満80歳 数え81歳 暗剣殺	昭和17年生 1942年 満81歳 数え82歳 八方除	昭和16年生 1941年 満82歳 数え83歳	昭和15年生 1940年 満83歳 数え84歳 八方除	昭和14年生 1939年 満84歳 数え85歳 八方除
昭和13年生 1938年 満85歳 数え86歳	昭和12年生 1937年 満86歳 数え87歳	昭和11年生 1936年 満87歳 数え88歳 米寿（べいじゅ） 八方除	昭和10年生 1935年 満88歳 数え89歳	昭和9年生 1934年 満89歳 数え90歳 卒寿（そつじゅ） 暗剣殺	昭和8年生 1933年 満90歳 数え91歳 八方除	昭和7年生 1932年 満91歳 数え92歳	昭和6年生 1931年 満92歳 数え93歳 八方除	昭和5年生 1930年 満93歳 数え94歳 八方除	昭和4年生 1929年 満94歳 数え95歳	昭和3年生 1928年 満95歳 数え96歳	昭和2年生 1927年 数え96歳 数え97歳 八方除	昭和元年生 大正15年 1926年 満97歳 数え98歳	大正14年生 1925年 満98歳 数え99歳 白寿（はくじゅ） 暗剣殺	大正13年生 1924年 満99歳 数え100歳 八方除	大正12年生 1923年 満100歳 数え101歳	大正11年生 1922年 満101歳 数え102歳 八方除

※最初にお生まれの年を確認してください。該当の枠に書いてある年回りになります。（厄年・八方除けなど）
※今年の誕生日が来てこの表の該当年齢となりますが、新年を迎えたら誕生日前でも御祈願を承ります。
（誕生日が来てからではなく年が替わったら早くうけたほうがいいです。）
※1月1日より2月3日までに生まれた人はその前年生まれの人と同じになります。表の一つ右を見て下さい。
※数え年で見るものですが、御祈願は年齢に関わらずお受けいたします。（数え年でも満年齢でも）
※御祈願は一つの願意につき一体のお札を用意します。玉串料もそれぞれ必要になります。
※暗剣殺など年回りで気になる方は障除の御祈願になります。
※三万円以上の玉串料の御祈願をする際は巫女舞を奉納します。
※表の八方除とは八方塞・鬼門・裏鬼門・歳破を指しています。

祈願料　五千円・七千円・一万円・二万円・三万円（巫女舞奉納）

家内安全・縁結び・厄除・八方除・障除・身体健全・商売繁盛・事業繁栄・社運隆昌
神恩感謝・交通安全・御車祓・安産・初宮詣・お宮参り・七五三・必勝祈願・合格祈願
学業成就・方位除け・お焚き上げ・長寿・還暦・古稀・地鎮祭・出張祭典　等随時承ります